



地下鉄大江戸線延伸が国と都から高い評価を受けました！

～大江戸線延伸の早期着手を目指します～

と き 平成28年4月20日(水)発表

平成28年4月20日、交通政策審議会は国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」答申しました。

地下鉄大江戸線の延伸(光が丘～大泉学園町)については、今月7日に示された答申(案)のとおり、対象の24プロジェクトのうち、「進めるべき」6つのプロジェクトの一つとして、高い評価を受けました。既に都は、大江戸線の延伸について、優先的に整備を検討すべき5つの路線の一つに位置付けており、これにより国と都から整備に向けた明確な位置づけを得たこととなります。

答申を受け、前川 耀男 練馬区長はコメントを発表しました。

また、区民に対し、ねりま区報4月21日号で、国が答申で示した大江戸線延伸の評価についてお知らせします。

引き続き、区は、早期着手に向け、事業予定者である東京都とより緊密に協議を進めます。また、沿線まちづくりや大江戸線延伸推進基金の積み増しに積極的に取り組み、大江戸線延伸の実現につなげます。

【区長コメント】

4月20日、交通政策審議会は国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」答申しました。大江戸線の延伸は、対象の24プロジェクトのうち、「進めるべき」6つのプロジェクトの一つとして、高い評価を受けました。これで、国と都から明確な位置づけを得たこととなります。区の悲願である延伸が大きく前進しました。早期着手を目指し、事業予定者である都とより緊密に協議を進めます。

平成28年4月20日

練馬区長 前川耀男

【答申の内容】

- (1) 国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト 8路線
 - (2) 地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト 16路線
 - ・東京12号線（大江戸線）の延伸はこのプロジェクトに位置づけられている。
 - ・大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町）については、「導入空間となりうる道路整備が進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担の在り方等について合意形成を進めるべき」プロジェクトとされている。
 - (3) 駅空間の質的進化に資するプロジェクト 3つの取組
- 上記(1)・(2)で選ばれた24路線のうち、東京12号線（大江戸線）の延伸は、「進めるべき」とされた6路線に選ばれ、高い評価を受けている。

【東京都での位置づけ】

昨年7月に、東京都は「広域交通ネットワーク計画」を策定し、大江戸線（東京12号線）延伸（光が丘～大泉学園町）を「整備について優先的に検討すべき路線」5路線に位置付けている。

【これまでの取組】

地域住民と区議会とともに「大江戸線延伸促進期成同盟」を組織し、事業予定者である東京都への要請活動や、延伸の意義必要性などを周知するための促進活動を実施。東京都と事業化に向けた実務的な協議を積極的に進め、これまでに延伸の意義必要性、収支採算性、新駅周辺を含む沿線まちづくりなど、基本的な事項について認識を共有。大江戸線の導入空間となる都市計画道路（補助230号線）は、延伸区間全てが事業化され、既に一部は交通開放している。

沿線まちづくりでは、土支田中央区画整理事業については工事を完了し、駅前広場の用地も確保している。現在、その他地域（大泉町、大泉学園町）でも、まちづくりを進めている。

平成23年度の大江戸線延伸推進基金を創設し、平成27年度現在、約16億円を積み立てている。平成28年度は10億円の積み立しを予定している。

【問合せ】

練馬区 大江戸線延伸推進課 大江戸線延伸推進係 電話03 - 5984 - 1564